

事業所名		東浦町立なかよし学園		公表日		令和7年1月15日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	17				
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	17		当日の出欠席に合わせて、臨機応変に保育士が他クラスにサポートに入ること、しっかり療育できるようにしている。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	15	2	必要に応じて対応している。	古い園舎は、段差があり少し不便に感じることもある。 段差がある。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	17				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	17				
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	17				
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	17				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	17		風通し良く、互いの意見を伝えられる環境にあり、その都度より良い療育ができるよう話し合うことができています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	17			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	17				
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	17			現在準備中。R7.4までに公表予定。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	17				
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	17				
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	17				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	17				
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	17				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	17		自分たちのクラスで立案を行うだけでなく、他クラスや保育園とも連携をとっている。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	17		クラスの状況により活動を行っている。		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	17				
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	17				

事業所名	東浦町立なかよし学園
------	------------

公表日

令和7年1月15日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	17		休みだった保育士は、後日を様子を伝え、密に連携をとれるようにしている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	17			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	17			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	17			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	17			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	17		併行利用の支援内容にズレが生じないように話し合う機会を設けている。 移行先の保育園の職員とはプレ慣らし保育が始まる前月より話し合う機会を設け児の姿を共有し、スムーズな移行ができるようにしている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	17		就学に向けてスムーズに移行できるよう、複数回見学をしたり、小学校教諭と話し合う機会を設けている。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	16	1		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	17		併設されている森岡保育園との交流や森岡児童館へ遊びにいかせてもらい、活動する機会を設けている。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	17			
保護者への	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	17			
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	17			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	17			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	17			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	17			
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	16	1	保護者会や、父親同士の会は設けている。 運動会では、自由参加だが、親きょうだいも参加できる種目を用意している。	きょうだい同士で交流する機会は設けていない。

事業所名	東浦町立なかよし学園
------	------------

公表日

令和7年1月15日

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
説明等	40	17			
	41	17			
	42	17			
	43	17			
	44	16	1	保護者の会主催でコミュニティまつりに参加し、地域住民との関わりを持つようになっている。	
非常時等の対応	45	17		不審者訓練を年2回実施。	
	46	17			
	47	17			
	48	17			
	49	17			
	50	17			
	51	17		毎日夕会を実施し、ケガ等その日にあったことを職員間で共有している。改善策が必要な案件については意見を出し合い、再発しないよう心がけている。	
	52	17			
53	17				